



羽ばたけ、世界へ。



BUNNAN
Advanced

武南中学校

SCHOOL GUIDE BOOK 2026

BUNAN Advanced



新たな10年に向けた
先進的な教育の創生と、
生徒全員が先進的コースの
一員であること。

Educational Concept

国際社会で活躍する高い知性と探究心
豊かな教養を身に付けた人材を育成します

武南中学校が目指す教育、それは社会をより良く変革しようという志をもったグローバルリーダーの育成です。学びの主役になるのは、一人ひとりの生徒諸君。先進的な学習と充実した学校生活の先に、あなたの輝かしい未来を切り拓いてください。



本校は1963年(昭和38年)に創立された武南学園の建学の精神「自主・自立・自学・協同」の伝統を受け継ぎ、2012年(平成25年)に、併設型の中高一貫校として開校いたしました。

本校では、国際化、情報化、多様化の進む変化の激しい社会の中で、幅広く情報を収集し、様々な問題に自ら立ち向かい、その解決を目指すグローバルな視点を有する生徒の育成を目指しています。

そのため、本校独自の異文化理解プログラムとして「BUNAN INNOVATION」を開発し、英語によるディベート、プレゼンテーション活動などを通して、今日の社会で求められる思考力、判断力、表現力をはぐくむとともに、世界の諸問題を考えるため、中学2年生でのアジア研修(カンボジア・ベトナム)、高校1年生でのアメリカ研修(ボストン・ニューヨーク)を実施しています。

その成果として、昨年度、英語検定3級以上合格率82%、今年度も75.8%と高い水準での合格を維持し、英語検定2級合格者も2年間で7名、準2級20名と多くの生徒が高い語学力を身に付けています。

また、埼玉大学STEM教育研究センターとの共同研究を行い、プログラミング教育や本校独自のSTEM型問題解決学習(B-STEM)を取り入れた教科横断型の授業を展開し、探究的、問題解決能力の育成を目指しています。これらを、SDGsを取り入れた総合的な学習の時間と併せて、生徒の総合的な学力を身に付けさせるための取組を進めています。さらに、本校では、従来から理科、社会科、芸術科のフィールドワークや日本文化に目を向けた能楽、文楽、歌舞伎などの古典芸能鑑賞会などの体験学習を取り入れ、幅広い教養を身に付けさせています。

このような教育活動の成果として、ここ2年間の一貫コース卒業生は、立教大学、中央大学、学習院女子大学、東京女子大学、日本女子大学、國學院大学、文教大学など、第一志望の大学への合格を果たしています。

ぜひ、武南中学校、武南高等学校の6年間で、高い知性と教養、探究心を身に付け、大きく羽ばたいていただきたいと思っています。



武南中学校 校長
遠藤修平



必要なのは、本物に触れること
校内では得られない
広い教養や専門知識を身に付ける

音楽、美術、伝統芸能の鑑賞、各分野の専門家による講義、地元埼玉の自然調査など、学年ごとにさまざまなテーマで行います。フィールドワークの前にはグループでの調べ学習や、プレゼンテーションなどを行い、体験をより確かな知識へと定着させます。

グローバルリーダーにふさわしい素養の醸成



フィールドワーク



02 芸術科 FW

学芸員よりレクチャーを受け、展示作品や美術品の鑑賞法、見学マナーなどについて学びます。

- ・東京国立博物館見学 ・国立西洋美術館見学
- ・オペラ鑑賞 ・古典芸能鑑賞教室 (歌舞伎・能・狂言 文楽)



03 理科 FW

日本の地質学発祥の地である長瀨を訪問し、岩石について学んだり、埼玉県立自然の博物館ではグループごとに地質学や生物学について調査したりします。

01 社会 FW



中学1年生はフィールドワークの基本となる街探索、中学2年生はアジア研修に向けた途上国への理解、中学3年生はキャリア教育の一環として、企業や研究機関を訪れます。

JAXA



JAXA 筑波宇宙センターでは、宇宙開発に関する最先端の技術を学びます。ロケットや人工衛星の仕組み、宇宙探査の方法、宇宙での生活について深く理解し、実際のミッションに使われている技術や設備を見学します。

UNICEF 本部



UNICEF では、世界中の子どもたちが抱える課題や、教育・保健・栄養などに関する国際支援の在り方を学びます。VR や展示、ワークショップを通じて現地の暮らしを疑似体験し、子どもの権利や国際協力の意義を深く理解します。自分にできる支援について考える力を育みます。

豊洲市場



豊洲市場では、「食の大切さ」や「市場の仕組み」を学ぶプログラムに参加します。鮮魚の競り見学、食材の鮮度管理など、実際の市場で働く人々の仕事内容を知ることで、食材がどのように市場に運ばれ、消費者の手に渡るかを学びます。

04 HR 合宿

探究学習のスタートとして、秩父へ3日間訪れます。集団生活の基本を学びながら、伝統文化に触れ、文化的価値を学びます。自然保護や文化継承、経済発展をテーマに調べ学習を行い、プレゼンテーションをします。



Student's Voice /

歴史の大きな流れを感じた社会科 FW

鎌倉での社会科 FW が印象に残っています。鎌倉時代の歴史を調べてから鶴岡八幡宮を訪問しましたが、歴史上の人物が実際に祀られているのを目の当たりにし、歴史の大きな流れを感じました。この FW で学んだことをそれぞれ新聞にまとめましたが、社会科の勉強にも興味が出てきました。



2年 山本 琉介 さん

FW 紹介動画はこちら





対等な目線で世界の人々と共生するために

英語学習を通して
世界へと視野を広げる
国際理解教育

諸外国の文化や価値観を知るだけでなく、日本人としてのアイデンティティを持ち、対等な目線で世界の人々と共生していく。真の国際理解につながる「世界を知る心」を、6年間を通して磨きます。



異文化を理解し、
世界の中の日本を知る

International

国際学習

01 BUNAN Innovation

中学校では、フォニックスや音読・多読活動を通して、強固な土台を作りつつ、少人数の英会話授業により即興力も高めます。高校では、英字新聞や雑誌から様々な話題を掴み、関連するトピックについて論理的に思考し、発信する力を鍛えます。各種フィールドワークや海外研修での学習活動ともリンクしており、教科横断的な学習を系統立てて実施。これらの活動や経験を通して、スキルではなく「コンピテンシー」として英語力を身に付けます。

4技能統合型授業

分野別学習 ▶ 4技能を同時に育成 ▶ 深く考える



02 研修プログラム

本校の研修プログラムには、授業体験や遺跡修復体験、平和学習など、さまざまな方法で世界の今を知る数多くの体験活動が組み込まれています。同年代の人との交流を通じて、自分の過去を見つめ直し、将来に向かって行動していくきっかけにもなります。

アジア研修



2年次にベトナム・カンボジアへの海外研修を行います。アジアの成長を目の当たりにすると同時に、英語によるコミュニケーションが日常化していることを知ることで、国際感覚を養い、日本とアジア諸国のつながりについても学びます。

アメリカ研修



高校1年になるとアメリカ・ボストン研修が行われます。ホームステイを通じて生の英語に触れるほか、マサチューセッツ工科大学やハーバード大学を訪問し、ワークショップに参加します。

古都研修



高校2年次には、京都・奈良も訪問します。海外の文化や生活を学んだうえで、あらためて日本の原点である古都を巡ることで、日本という国とそこに生活する自分を見つめなおす機会になります。

03 English Camp

10か国以上の留学生を招いて3日間、英語漬けの日々を送ります。ゲームや表現活動を通じて他国の文化に触れることで、広い世界を知るワクワク感や英語によるコミュニケーションの楽しさを体験できるプログラムです。



Student's Voice /

アジア研修を通して
挑戦する意欲が生まれた

アジア研修に参加して驚いたのが生活環境の違いでした。テコボコの道路、屋根のない家、裸足で歩く人たち…。地雷撤去も続いており戦争の傷跡が残っていることも実感できました。この経験をベースにして幸せとは何かを考えるようになり、新しいことに挑戦する意欲が生まれました。



2年 五月女 花純さん





STEM 教育とは？

プログラミング的思考と
自らの手で実現するスキルを鍛え
AI 時代を「生きる力」に

STEM 教育とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)といった学問分野を組み合わせ、社会の課題を主体的に解決する力を育む総合的な学習プログラムです。武南中では、STEM 教育を体系的に再構築した「B-STEM」を推し進めています。

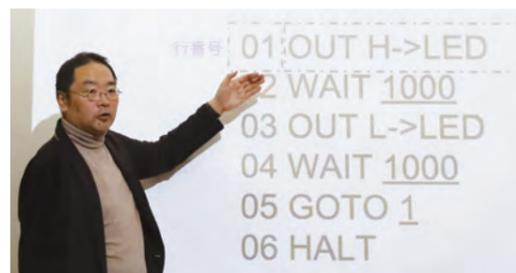
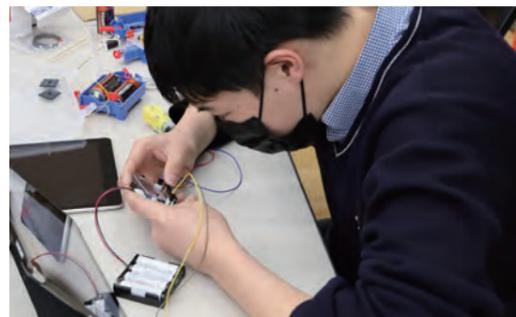
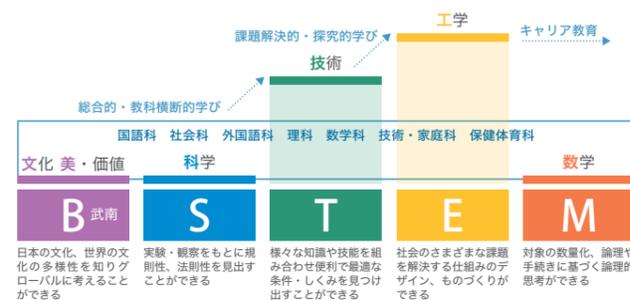


主体的な問題解決力を育てる

B-STEM

武南中独自の B-STEM 教育

「B-STEM」は、埼玉大学 STEM 教育研究センターの所長・野村泰朗准教授監修のオリジナルカリキュラムを使用した、武南中独自のプログラムです。AI と共に生きるこれからの生徒には、AI に対して能動的にはたらきかけつつ、新しい価値を創造し、社会課題を解決するための新しい方法を提案していく力を高める「知識創造型の学び」が不可欠となります。それが「B(武南)-STEM 教育」の本質的なねらいです。



埼玉大学STEM教育センター長の野村泰朗先生による公開授業。



主体的・対話的で深い学びを実現
端末の操作に慣れるだけではない
ICT を活用した
アクティブラーニングの展開

すべての授業で ICT を活用し、学習の理解度を深めるとともに、自分の意見を自分のことばで発信できることを目指します。学習以外の場面でも、生徒会選挙での政見放送を配信したり、文化祭でクラスごとに PR 動画を作成したりするなど、生徒の創造性の向上にも役立てています。

iPad や電子黒板を活用

ICT & ACTIVE LEARNING

全生徒にタブレット端末を配付するほか、インターネットと接続し、さまざまな情報を表示できる電子黒板を全教室に設置するなど、学習ツールに ICT を積極的に活用。勉強への関心を高めると同時に、効率の良い授業進行を実現しています。

電子黒板で広がる授業の可能性

電子黒板を活用することで、映像や資料を使って視覚的に分かりやすい授業が可能になります。考えの共有や学習内容の保存など、効率的であるだけでなく、インタラクティブな機能により、生徒の積極的な参加を促します。想像力を刺激し、学びへのワクワク感を高める先進的な学習ツールです。



Teacher's Voice /

生徒が考え、想像したものに iPad で形を与える

国語の授業ではアウトプットの場面で iPad を使用しています。読んだ内容を図式化する、テーマに基づいた映像制作を行うなど、考えていることを具現化する上で不可欠なツールとなっています。生徒たちの発想力はすばらしく、私たち教員の予想を超えてくることもあり、毎回の授業が楽しみです。



中学主任 津島 亜沙子 先生



「自厳他寛」の精神に基づき優れた人格を形成
激動の時代に求められるのは
他者へのやさしさと
自己への厳しさ

どんな時代、社会にあっても大切なのは、高い倫理観や人を思いやるといった「人間力」。コミュニケーションの基本で挨拶の履行や、国際社会の場で必要な共感力など、優れた人格の形成を目指すためのさまざまな取り組みを行っています。

高い倫理観の醸成は日常生活から



人間教育において「平凡を非凡に努める」ことを大切にしています。1A5S(挨拶・整理・整頓・清掃・清潔・躰)にこだわり、早くから社会の一員としての規範を身に付けます。

規律・規範意識を醸成する「平凡を非凡に務める」精神

自主・自立の精神を実現するために、フォーサイトという手帖を使用しています。BASLの時間に今後の予定立てや日々の振り返りを行うことで、自己管理能力を養います。



Student's Voice

爽やかな挨拶にあふれた きれいな学校が自慢です

毎朝の「おはよう」をはじめ、この学校には爽やかな挨拶がたくさんあふれています。私も挨拶を通して知らない子にもできるだけ話しかけるようにしています。誰かが何かこぼすとまわりの人がすぐに拭いてくれるなど、自分たちの場所をきれいに保とうとする意識の高さも感じています。



2年 高橋 夏帆 さん



通学路や学校近隣地域の清掃活動、学習ボランティア、高齢者を対象とした介護予防教室など、地域貢献につながる交流活動も授業の一環として取り入れています。また、SDGsプログラムを通じて、国際社会の一員としての意識も醸成します。

クリーン作戦



毎学期実施される「クリーン作戦」では、道路や公園の清掃を行い、地域の環境美化の重要性や公共のマナーについて学習します。

SDGs プログラム



2年次には社会科フィールドワークでJICA地球ひろばに訪問し、発展途上国への支援活動やSDGsについて学びます。

人権や環境、ICTリテラシーといった、各分野の専門家の講演会や書籍、模擬国連・模擬裁判などの実施を通して、自らの夢や適性を見つめ、中学3年生の段階で将来の方向性とそれにあった進路を固めていきます。



模擬裁判



夏期特別講座ではさいたま地方検察庁検事を講師に招聘し、生徒がそれぞれ裁判官、検事、弁護士役を演じる「模擬裁判」を実施。

教育環境





最先端の学習空間

全体は白を基調とし、心地よい光に包まれた快適な空間となっています。さまざまな学習スタイルに対応できる、最新の設備が整っており生徒たちを大きく成長させることができます。



職員室

集会や式典を行うメディアホールの後ろには、職員室があります。職員室の前には机や椅子が並んでおり、授業以外の時間では生徒たちがここで自習をしたり、先生に相談したりします。

Student's Voice / 先生が見つけやすく 質問に行きやすい

職員室も教室と同じく壁がなくオープンになっているため、質問や相談に行きやすいです。困ったことがあっても気軽に訪ねられます。

2年
藤井 ケンコウ さん



理科室

各種実験に対応しており、実験動画を視聴できる多機能な可動式の電子黒板をはじめ、設備が整っています。また窓際ではハムスター、水槽ではメダカやヌマエビなどが飼育されています。

Student's Voice / 整理が行き届いた 使いやすい理科室です

実験のときに使っています。一緒に使うことが多い実験機器が同じ箱にまとめて整理されているなど、とても使いやすい理科室です。

2年
齊藤 璃久 さん



家庭科室

IHコンロを採用しており、火の心配をすることなく調理できます。またオープンやミシンなど、家庭科の授業に必要なものがすべて揃っています。大きなテーブルで作業しやすいのも魅力です。

Student's Voice / 苦勞したけど 楽しく縫えました

ミシンの授業では、2人で1台のミシンを使います。最初は苦勞したけど慣れれば簡単で、声をかけ合いながら楽しく縫えました。

2年
別役 芽咲 さん



屋上庭園

生徒に人気のスポットのひとつ。雨の日を除き、昼休みに解放されています。ここでは環境緑化委員の生徒を中心に、季節によってトマトやブロッコリーを植えて、畑の活用を進めています。

Student's Voice / 緑豊かな空間が広がり リフレッシュに最適！

いろいろな野菜が植えられていて緑豊かな空間です。解放されている時間はリフレッシュのために活用しています。景色も抜群です。

2年
藤原 紫琪 さん

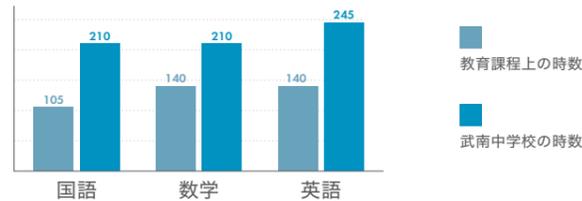


「分かる」学習から「できる・使える」学習へ



学んだことを実践するための絶対的な自信を養う
教育課程上の単位よりも多い授業

2024 年度年間授業時数実績 長期休業中の全員学習や講習を含む。



大学進学に必要な学習のほとんどを 5 年間で終え、6 年目は志望校に合わせた演習授業を行います。そのため週 6 日制、7 限授業に加えて、長期休業期間を見直し、授業日数を大幅に確保。教育課程上の単位より 1.5 倍～2.5 倍もの授業時間数を生み出しています。

「数は力」の言葉どおり、多くの学習時間に裏打ちされた自信こそが心の強さとなり、受験だけでなく今後の学びにプラスとなっていきます。

英語 総時間数約 665 時間 ▶公立校の 1.5 倍の英語教育

武南中学校の英語学習時間は中学 1、2 年で各 210 時間、3 年で 245 時間の合計 665 時間。実に公立中学校 420 時間の 1.5 倍の時間数になります。4 技能だけでなく、コミュニケーションツールとしての英語習得を目指し、中学 1 年からタブレットを使った英語プレゼンテーションやディベート、徹底したリスニング強化を行います。日々の授業で習得した語学力は、2 度の海外研修の経験を通じてより磨かれ、単なる受験英語で終わらない確かな実力となって身に付きます。



数学 論理的に考える力を養う

数学を学ぶ本来の目的は、将来あらゆる分野で必要となる「論理的思考力」の習得にあります。武南中学校では 6 年後の大学入試に向けた学力だけでなく、まず数学の楽しさ、面白さに触れてもらい、「数学的なもの見方・考え方」を育てる授業を展開しています。



理科 科学的探求心と思考を育てる

情報や知識にあふれる現代社会。今後、求められる力は、未知の世界に興味・関心を持ち、課題の解決や新たな発見に科学的な裏付けをもって示す発想と技能です。教室での講義に加え、実験や観察、校外でのフィールドワークという「本物の体験」を通じて、課題設定から考察、発表までの科学的思考力を養っていきます。



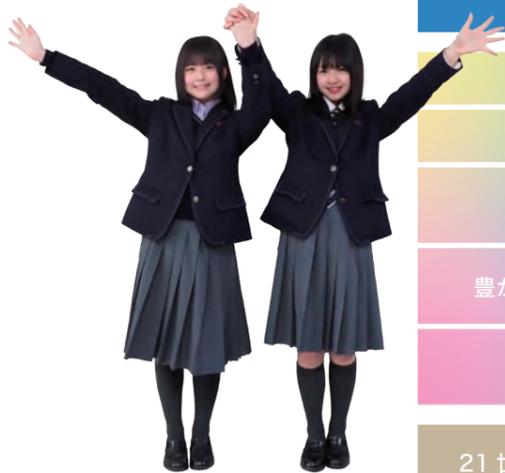
国語 未来を拓く知の土台をつくる

国語はあらゆるコミュニケーションの基本。自分自身で未来を切り拓き、社会で活躍する人間になるための基盤科目です。「読解力」「記述力」「伝達力」を身に付けると同時に、多彩な作品に触れることで日本人としての豊かな感性・情緒を錬磨していきます。



社会 社会の諸問題を探る

中学校では地理、歴史、現代社会を柱に、日本および世界の国々についての基礎的な知識と、現代の社会が抱える諸問題まで学んでいきます。フィールドワーク、レポート作成やプレゼンテーションを通して、多面的・多角的な考察力、自分の意見を述べる力も身に付けます。



	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
指導コンセプト	興味と関心	体感と理解	努力と自己改革	教養と人間性	多様性とアイデンティティ	未来構想力とイノベーション
教科学習	中学校課程の学習		高校課程の学習		学力評価テスト対策	
	学びの習慣化と課題発見解決学習の導入	学習スタイルの確立と論理的思考力構築	自律的学習の推進		受験基礎力最終確認	二次対策学習
進路学習	専門家の講演会や書籍による職業研究から将来を模索		批判的思考力習得	批判的思考力の展開	個別受験対策	
変革する心	6 年間の主体的な学習を通して社会を「変革する心」を育む					
世界を知る心	授業や外国人教員とのふれあいを通して、語学に親しみ異文化に触れる	English Camp で基礎的な英会話をマスター/アジア研修で英語力の必要性を理解	授業や留学生との交流等を通して語学力とコミュニケーション能力を高める	English Camp (希望者) でより高度な会話を習得/アメリカ研修におけるホームステイや米国の大学の講義を体験	古都研修を通じて世界中の日本を考へ、共生意識を醸成する	卒業後の進路に応じて、さらなる異文化理解や語学習得に励む
豊かな教養を愛する心	歴史舞台や身近な自然環境、博物館等を訪れる/日本の伝統文化(歌舞伎)に触れる	省庁など公的機関を見学/美術館や日本の伝統文化(文楽)に触れ、見聞を広める	企業を訪問しリアルなビジネスの現場を体感/日本の伝統文化(能楽)に触れる	キャリア実現や自己実現に向けた個々の総合学習		
人間力を高める心	日々の挨拶や地域の清掃活動などを通して中学生としての規範を身に付ける	英語学習などを通して人権や生き方について考える	ボランティアや各種の校外活動などで学校外の人々と交流する	共生意識の醸成/自己改善力の育成	自己と多様性の本質理解を促す	社会市民としての意識の高揚/有為な社会人としての自覚を醸成
21 世紀型スキルの習得	基本的なプレゼンテーション能力やディベートの方法、論文の書き方などを学ぶ/基礎的な ICT リテラシーを習得	授業や研修、アクティブラーニングを通じてプレゼンテーション力や情報活用能力、創造力を磨く	じてプレゼンテーション力や情報活用能力	問題解決能力やコラボレーション能力、数的処理能力を高める/上級生としての責任感・リーダーシップの涵養	責任感、リーダーシップの発揮/社会で求められるリテラシーを身に付ける	
コース選択	武南中学校 中高一貫コース					
	高校 1 年からは、武南高等学校のコースへの編入も可能です			武南高等学校 選抜コース 武南高等学校 進学コース		



武南中教師座談会

多彩な体験活動を通して 生徒の視野と可能性を広げたい

左から木下みのり先生（国語科）、遠藤修平校長、福田恵理奈先生（英語科）、高野怜音先生（社会科）

武南出身の3人の先生方にお集まりいただき、武南中学校が創立以来取り組んできた特色ある教育について、その狙いや現状、今後の方向性なども含め、校長を囲んで語り合っていました。

根拠を持って英語で 主張できる生徒を育てる

校長 本校の一番の魅力は、生徒が様々な経験を積めるように多彩なプログラムを用意していることにあります。大きく4つの柱からなり、第1は開校以来の目標であるグローバル人材育成のための異文化交流プログラム「Bunan Innovation」です。2023年度からスタートしており、福田先生には英語教育のブラッシュアップを担っていただいています。

福田 最初に手掛けたのは、中学校の英語教育の All English 化で、日本人の教員も原則として授業はすべて英語で行います。週2回の英会話の授業は ALT を加えたチームティーチングとし、テーマを設定した授業展開を心がけています。こちらもちろん All English です。さらに月1回は、ALT がメインとなってパフォーマンステストを実施しており、スピーキングテスト、インタビューテストも含めて、自分たちが表現したいことを英語で伝える力を伸ばすような工夫を散りばめています。

校長 その成果として、英検の取得率も3級以上が昨年 82%、今年 76.5%、準2級以上が昨年 11 名、今年 9 名といった数字になっています。3級の全国平均取得率は 50% ですから、英語の総合力という点では、かなり高い水準を保っているといえるのではないのでしょうか。

福田 昨年はアジア研修に引率教員として

帯同しましたが、生徒が物怖じせず果敢に英語で話しかけていく場面を数多く目にしました。授業のなかに英語で表現する時間を豊富に用意していることや、英語漬けで3日間を過ごす「English Camp」を中1で導入するなど日頃から英語を口にする機会が多いことが、異文化交流への積極的な姿勢を育てているのだと実感しました。

校長 福田先生は海外留学の経験もありますし、生徒に還元できることも多いと思います。何かお考えになっていることはありますか。

福田 より活発な英語の授業展開ということであれば、スピーキングに力を入れたいと考えています。現在、英会話の授業では、意見を述べ、その理由や具体例を説明してから、改めて主張するという一連の流れを意識しており、それを ALT が OREO (Opinion, Reason, Explain, Opinion) としてまとめてくれていま

す。これからは根拠を持って自分の意見を英語で表明できるように、ロジックの訓練も視野に入れていきたいと思っています。

フィールドワークを通して 考える力をとことん鍛える

校長 第2の柱は、探究的な学びを獲得するために導入されている「フィールドワーク (FW)」で、理科FW、社会科FW、芸術科FWなどがあります。中高一貫コース出身の木下先生は、どれも経験されていますね。

木下 本当にたくさんの数をこなしてきました (笑)。楽しかった思い出もたくさんありますが、それだけではなく、事前学習にかなりの時間を費やしたことをよく覚えています。まずは自分たちで調べ、現地で得た知識と合わせて考察し、パソコン上でレポートにまとめ、発表するわけですが、レポートにまとめる際も、効果的な写真を選択したり、色使いや見やすいレイアウトを考えたりと、かなりの手間をかけました。

校長 実は、中1の5月に行うホームルーム合宿が、最初の FW 経験になっています。2泊3日の校外学習として秩父をテーマに調べて発表するわけですが、ここでも事前・事後学習をかなりしっかり行っています。

木下 レポートや発表の内容も、学年が上がるたびにどんどん要求が高度になっていきます。中1のときはタイトルと写真と文章で良かったのが、文章量が増えたり、英語でまとめることを求められたり…。とにかく自分の頭で考えるという教育をしていただいたなと思っています。

校長 現在に役立っていますか。

木下 もちろん (笑)。教員の仕事をしていると授業1つとっても、自分でデザインするしかありません。授業の流れや見やすい資料の提示など、どうしたら生徒の理解を深められるか、



様々な角度から検討して決定していくことが求められます。それがまったく苦にならないのは、中学高校で散々鍛えられてきたおかげで (笑)、ありがたく思っています。

校長 現在は高校の教員ですが、2026年度から中学校教員として、FW を実りあるものにする立場になりますね。

木下 はい。生徒にどれくらいの負荷をかければいいかが一番の課題だと考えています。簡単な課題だとつまらないし、難しすぎるとやる気が起きません。頑張ればできそうだと、やってみようかなと思えるような課題をどう設定するかを、常々考えなければならぬと思っています。当時、自力でやり遂げたと思っていたことも、思い返してみると先生方の絶妙なヒントがあったからで、そうした手厚いサポートが後ろにあったことを教員になって改めて実感しています。

教科横断型授業を通して 新たな気付きにつなげる

校長 3つ目の教育の柱は、プログラミク的思考を鍛える「武南 STEM 教育」です。本校では身近な課題や社会の課題を解決するための教科横断型の学びとしてデザインしています。昨年度は高野先生も携わっておられましたね。

高野 データを見ると、自分たちが望むような政治が行われていないことがわかります。それはなぜだろうかと考えていくことで、政治に関心を持つことの大切さや選挙の大切さなどに

意識を向けることができたと思います。実際、ニュースを見たり新聞を読んだりする生徒は増えましたし、ご家庭で政治家に関する話題が増えたという声も聞いていますから、政治への関心を少しでも喚起できたのではないかと考えています。

校長 公民分野でも政治や民主主義について扱っているのですが、データを介すことで、生徒の学びが活性化したのでしょうか。

高野 STEM 教育導入前であれば、正直、教科書の太字を解説するという知識ベースで終わっていたかもしれませんが、今回は、自分に何ができるのかという民主主義の根幹にまで踏み込めたのかなと思っています。このほかにも、昨年度は埼玉大学のシステム教育研究センターとの連携により、自作モーターを搭載した模型自動車をプログラミングで走らせるという理科と技術の教科横断型授業を実施しています。今後も、様々な教科を巻き込んだ STEM 教育を計画しており、新たな気づきを生むような機会を増やしていきたいと考えています。



校長 第4の柱として「日本の伝統文化の理解」を掲げています。これは芸術科FWに組み込む形で実施していますが、自国文化に関する教養を身に付けるという意味では、グローバル人材育成の一翼を担うものだと考えています。こうして本校出身の先生方のお話を伺っていると、武南の教育がしっかり根付いていることがわかり、うれしく思います。



武南中学生の一日

自分で時間を管理する「自律学習」
本当の学力を生みだすためのプログラム

個人の自律性や自己開発を尊重したスクールライフを送れるよう、
学校一丸となって取り組んでいます。
他にも自主学習など、生徒たちの学習意欲を力強く支援しています。

7:30 朝学習 (中学生のみ)
学校は 7:30 より開門されています。
希望者は朝学習のために利用できます。

8:15 登校
下駄箱で登下校メールリーダーにカードをかざし、
教員が生徒の登校を確認します。



8:20 朝読書
朝読書では BUNAN
Advanced 100 冊ジュ
ニアシリーズを読み始
めます。



8:35 SHR(ショートホームルーム)
週替わりの当番制での生徒自身による司会で、
SHR が進行します。

8:45 午前授業
授業はノーチャイム制 50 分。
自らが時間を管理する自律した姿勢が求められます。



12:35 昼休み
栄養面・アレルギー等
の体質面を考慮して原
則、弁当持参となりま
す。

13:25 午後授業
午前授業と同様にノーチャイム制 50 分。
授業は自律学習者の育成に繋がります。

15:25 7 限目
学年により週に数回 7 限授業があります。
教育課程上の単位よりも多い時間設定です。



16:15 清掃・SHR
BUNAN Advanced が
推奨する 5S の「整理・
整頓・清潔」を心がけ
て清掃を行います。

年間行事予定

6 年間に及ぶ、貴重な実体験の積み重ねが
一生の「財産」になります

中学から高校までの 6 年間を通して、たくさんの喜びや悩み、成
功と失敗を体験します。このような貴重な実体験は、生徒たちを大
きく成長させていきます。

4 April
●始業式・入学式
●オリエンテーション
●学力推移調査 ●保護者会

5 May
●HR 合宿 (1 年)
●生徒総会
●第 1 回考査・フォローアップ講習

6 June
●保護者会
●理科フィールドワーク (1 年)
●英語検定 (2・3 年) ●能楽鑑賞 (3 年)

7 July
●第 2 回考査・フォローアップ講習
●保護者会 ●歌舞伎鑑賞 (1 年)
●終業式 ●三者面談 ●夏期講習

8 August
●始業式 ●English Camp (1・2 年)
●漢字検定 (2・3 年) ●数学検定 (3 年)
●夏期講習



9 September
●文化祭
●体育祭
●学力推移調査

10 October
●英語検定
●学力推移調査 ●避難訓練
●第 3 回考査・フォローアップ講習

11 November
●保護者会 ●美術科フィールドワーク
●社会科フィールドワーク ●三者面談
●文案鑑賞 (2 年) ●オペラ鑑賞

12 December
●第 4 回考査・フォローアップ講習
●保護者会 ●球技大会
●終業式 ●冬期講習



1 January
●始業式 ●実力考査
●英語検定 ●漢字検定
●中学入試 ●百人一首大会

2 February
●数学検定
●第 5 回考査・フォローアップ講習
●アジア研修 (2 年) ●学力推移調査

3 March
●三者面談 ●修了式・卒業式
●春期講習

BACC 部活動

BUNAN Advanced Culture Club
自己を高め友情を育む時間

知・徳・体のバランス良い学習活動を実践すること、
また国際理解の根幹をなす日本文化の理解・日本人としてのアイデンティティーの育成を目指し部活動を展開します。



- 希望者制
回数…週 3 回
時間…最大 2 時間
- 運動系
卓球部
バレーボール部
バスケットボール部
硬式テニス部
柔道部
剣道部
フィットネス部
- 文化系
合唱部
華道部
書道部
英語部
科学部

制服

正装
正装は入学式や卒業式をはじめ、朝礼や終業式などの
式典の際や、夏以外の校外学習でも着用します。

夏の制服
半袖シャツのボタンがそれぞれ色違いになっています。
(男子はブルー、女子はピンク)

略装 (夏季以外)
夏服着用期間を除いて、式典以外の日に着用しています。
ブルーとパープルのギンガムチェックを選べます。



武南中学校建学の精神

新生の気溢れる一歩を踏み出した武南の生徒は
おのおのが生涯の師表をめざして努力し和して熟し
輝く朝の光の彼方に希望の地平を見よ
ここに建学の精神を掲げる

- ・ 自主自立学習協同を本旨とする
- ・ 民族的自覚のもとに国際人としての知性と感覚を身につける
- ・ 家族地域社会の一員としての自覚を深める
- ・ 日々の学業の一員としての自覚を深める
- ・ 家族地域社会の積み重ねによって実力を啓発する
- ・ 個性や能力を伸ばし勤労への積極的態度を培う
- ・ 明朗清新な生活態度を保つ
- ・ スポーツに励み健康な心身を養う



Events

2026年度入試 学校説明会スケジュール [保護者・受験生対象]

学校説明会 要予約

学校概要・入試結果説明・施設見学等

5.25日 9.21日 10.5日
10:00-12:00 10:00-12:00 10:00-12:00

授業公開&説明会 要予約

中学・高校の授業見学ができます

6.21日
10:00-12:00

学校説明会 (オープンスクール) 要予約

英語や理科の授業体験ができます

7.27日 8.24日
10:00-12:00 10:00-12:00

イブニング説明会 要予約

お仕事帰りに参加可能です

11.7日 12.5日
18:30-20:00 18:30-20:00

入試体験会 要予約

2科(国・算)または適正検査型試験を体験できます

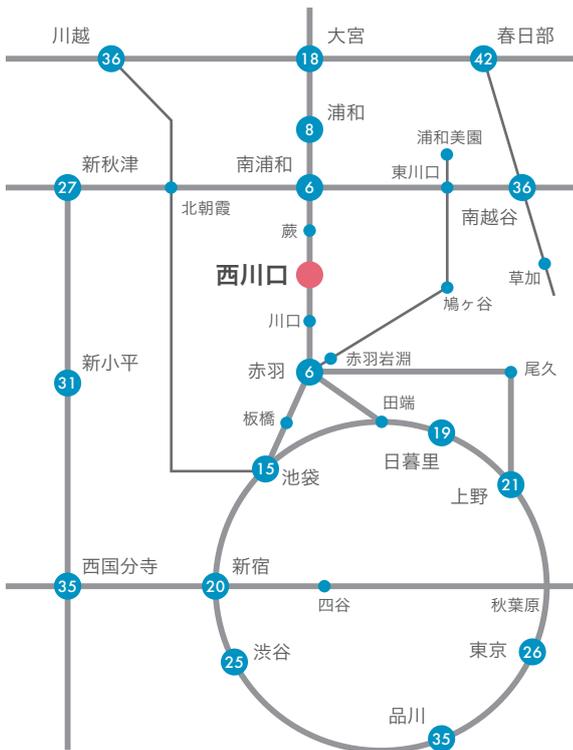
11.16日 11.30日
8:30-12:30 8:30-12:30

文化祭

9.6日-7日
10:00-15:00

※日程・時間などは変更になる場合があります。要予約のものは本校HPよりお申し込みください。

Access アクセス



JR京浜東北線「西川口」駅まで

新宿から…約20分 東京から…約26分
大宮から…約18分 南浦和から…約6分

JR京浜東北線「西川口」駅から徒歩10分



学校法人 武南学園

武南中学校

〒335-0002 埼玉県蕨市塚越 5-10-21
TEL 048-441-6948 FAX 048-433-5100

<https://www.bunan.ed.jp/j-highschool/>

